SUMA GAKUEN

オンライン授業
振り返り報告会

2021年3月22日

K3学年

SUMA GAKUEN

① オンライン授業の功罪

(メリット・デメリット)

② これまでに行った効果的な工夫

③ 今後の展望(有効活用に向けて)

④ 要改善・反省点

① オンライン授業のメリット

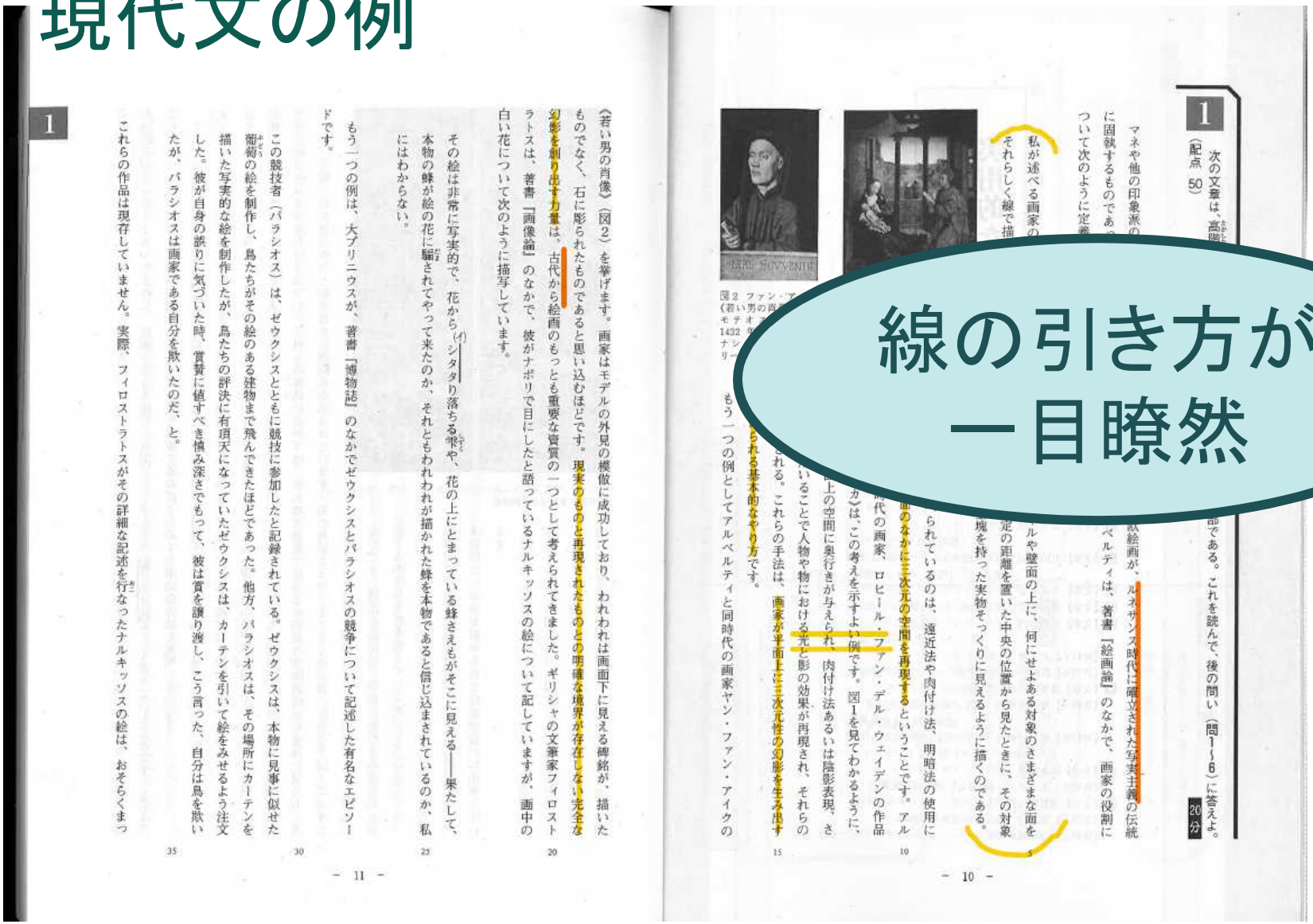
◈「学びが止まらない」

◈ 多欠生徒のハードル下がる

◈ 図像資料を一斉に見せることができる

◈ 図像資料を一斉に見せることができる

現代文の例



1

（配点 50）次の文章は、高階部である。これを読んで、後の問い（問1～6）に答えよ。 20分

マネや他の印象派の絵画が、ルネサンス時代に確立された写実主義の伝統に固執するものであるとベルティは、著書『絵画論』のなかで、画家の役割について次のように定義している。

私が述べる画家の[illegible]ルや壁面の上に、何にせよある対象のさまざまな面を[illegible]定の距離を置いた中央の位置から見たときに、その対象それらしく線で描[illegible]塊を持った実物そっくりに見えるように描くのである。

られているのは、遠近法や肉付け法、明暗法の使用に[illegible]面のなかに三次元の空間を再現するということです。アル[illegible]代の画家、ロビール・ファン・デル・ウェイデンの作品[illegible]カ）は、この考えを示すよい例です。図1を見てわかるように、[illegible]上の空間に奥行きが与えられ、肉付け法あるいは陰影表現、さいることで人物や物における光と影の効果が再現され、それらのされる。これらの手法は、画家が平面上に三次元性の幻影を生み出すられる基本的なやり方です。

もう一つの例としてアルベルティと同時代の画家ヤン・ファン・アイクの

図2 ファン・デ[illegible]《若い男の肖[illegible]モデオ[illegible]1432 年[illegible]ナシ[illegible]

《若い男の肖像》（図2）を挙げます。画家はモデルの外見の模倣に成功しており、われわれは画面下に見える碑銘が、描いたものでなく、石に彫られたものであると思い込むほどです。現実のものと再現されたものとの明確な境界が存在しない完全な幻影を創り出す力量は、古代から絵画のもっとも重要な資質の一つとして考えられてきました。ギリシャの文筆家フィロストラトスは、著書『画像論』のなかで、彼がナポリで目にしたと語っているナルキッソスの絵について記していますが、画中の白い花について次のように描写しています。

その絵は非常に写実的で、花から(イ)シタタリ落ちる雫や、花の上にとまっている蜂さえもがそこに見える――果たして、本物の蜂が絵の花に騙されてやって来たのか、それともわれわれが描かれた蜂を本物であると信じ込まされているのか、私にはわからない。

もう一つの例は、大プリニウスが、著書『博物誌』のなかでゼウクシスとパラシオスの競争について記述した有名なエピソードです。

この競技者（パラシオス）は、ゼウクシスとともに競技に参加したと記録されている。ゼウクシスは、本物に見事に似せた葡萄の絵を制作し、鳥たちがその絵のある建物まで飛んできたほどであった。他方、パラシオスは、その場所にカーテンを描いた写実的な絵を制作したが、鳥たちの評決に有頂天になっていたゼウクシスは、カーテンを引いて絵をみせるよう注文した。彼が自身の誤りに気づいた時、賞賛に値すべき慎み深さでもって、彼は賞を譲り渡し、こう言った、自分は鳥を欺いたが、パラシオスは画家である自分を欺いたのだ、と。

これらの作品は現存していません。実際、フィロストラトスがその詳細な記述を行なったナルキッソスの絵は、おそらくまっ

線の引き方が
一目瞭然

◈ 図像資料を一斉に見せることができる

地理の例

実際の授業の
スライドを
ご覧下さい。

4-問1

③　C中の地域は，干拓によって造成された土地であり，標高が0m以下の低平地となっている部分がある。

遠浅の海や干潟、水深の浅い
その場の水を抜き取ったり干
陸地にすること。

☆ポルダー(オランダ)

直線的な水路と地割

広めの耕地

路村形態

C

4 《**地域調査３**》　佐賀市内の高校に通うユカさんは，次の**図１**の20万分の１地勢図（原寸，一部改変）に示した佐賀県内の諸地域にかかわる地理的事象について，調査を行うことにした。ユカさんの調査に関する次の問いに答えよ。

搦（からみ）の干拓方法（約400～200年前）

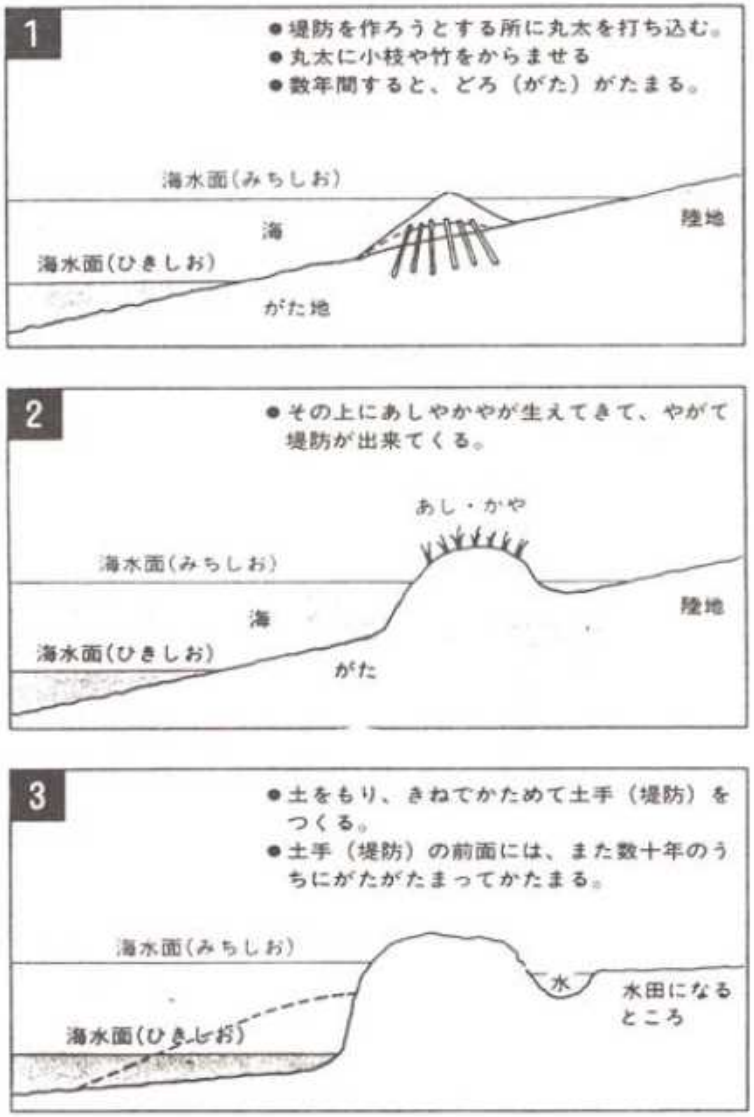


図１

① オンライン授業のデメリット

a. 生徒の集中力が保たない

b. 生徒の眼・耳・身体への負担

c.「あわない」生徒のストレス

d. 生徒の手元が見えない

e. 生徒も周囲の様子が分からない

f. 教員側の機材運用・準備の足並み

② これまでに行った効果的な工夫

「学びを止めない」

ZOOMでやることの意義

を考え、毎授業呼名点呼

② これまでに行った効果的な工夫

①-a. 生徒の集中力　　持続

①-b. 眼・耳・身体への負担　　軽減

のために特別時間割策定

学年教員で意見出し合い、
生徒からの意見も鑑み最適化

自粛期間、昼食を自炊しなくてはいけないなどの事情も加味。

特別時間割の例

（50分×2+休憩10分）×3

昼休みは50分、その後HR+体操

● 4/30（木）～5/2（[illegible]）（健康観察は8:15までにやります）　※時間割変更は変更する可能性があります。

	K3-1	K3-2	K3-3文	K3-3理	K3-4	K3-5	K3-6	K3-7
ZHR 8:25-8:35	濱本 771-872-8455	雪本 674-221-4651	辻本 219-429-7832	辻本 219-429-7832	稲葉 452-586-5295	木村 727-613-8861	小川 564-905-1776	小泉 898-412-7639
4/30木1 8:40-9:30	世　K3-7／日　K3-1 小川／高井 564-905-1776／955-677-5257	Ⅲg　K3-6／ⅠA　K3-2 多田／川崎 253-923-2252／352-800-5419	数演ⅠA　K3-2 川崎 352-800-5419	Ⅲg　K3-6／ⅠA　K3-2 多田／川崎 253-923-2252／352-800-5419	Ⅲg　K3-6／ⅠA　K3-4 多田／稲葉 253-923-2252／452-586-5295	数演ⅠA　K3-4 稲葉 452-586-5295	現文B　K3-3 辻本 219-429-7832	現文B　K3-3 辻本 219-429-7832
4/30木2 9:40-10:30	世　K3-7／日　K3-1 小川／高井 564-905-1776／955-677-5257	Ⅲg　K3-6／ⅠA　K3-2 多田／川崎 253-923-2252／352-800-5419	数演ⅠA　K3-2 川崎 352-800-5419	Ⅲg　K3-6／ⅠA　K3-2 多田／川崎 253-923-2252／352-800-5419	Ⅲg　K3-6／ⅠA　K3-4 多田／稲葉 253-923-2252／452-586-5295	数演ⅠA　K3-4 稲葉 452-586-5295	現文B　K3-3 辻本 219-429-7832	現文B　K3-3 辻本 219-429-7832
4/30木3 10:40-11:30	英表Ⅱ K3-1 畑中 545-833-7792	物　K3-6／生　K3-2 吉村／小泉 556-683-9924／898-412-7639	化演　K3-4 楠本 565-590-4702	物　K3-6／生　K3-2 吉村／小泉 556-683-9924／898-412-7639	物　K3-6／生　K3-2 吉村／小泉 556-683-9924／898-412-7639	化演　K3-4 楠本 565-590-4702	物　K3-6／生　K3-2 吉村／小泉 556-683-9924／898-412-7639	物　K3-6／生　K3-2 吉村／小泉 556-683-9924／898-412-7639
4/30木4 11:40-12:30	英表Ⅱ K3-1 畑中 [illegible]	物　K3-6／生　K3-2 吉村／小泉 556-683-9924／898-412-7639	化演　K3-4 楠本 565-590-4702	物　K3-6／生　K3-2 吉村／小泉 556-683-9924／898-412-7639	物　K3-6／生　K3-2 吉村／小泉 556-683-9924／898-412-7639	化演　K3-4 楠本 565-590-4702	物　K3-6／生　K3-2 吉村／小泉 [illegible]	物　K3-6／生　K3-2 吉村／小泉 556-683-9924／898-412-7639
[illegible] ZHR 13:55-14:05	自習＋ZHR 濱本 771-872-8455	自習＋ZHR 雪本 674-221-4651	自習＋ZHR 辻本 219-429-7832	自習＋ZHR 辻本 219-429-7832	自習＋ZHR 稲葉 452-586-5295	自習＋ZHR 木村 727-613-8861	自習＋ZHR 小川 564-905-1776	自習＋ZHR 小泉 [illegible]
4/30木6 14:10-15:00	コミ英Ⅲ　K3-1 辻野 465-088-5367	[illegible] 雪本 674-221-4651	[illegible] 木村 727-613-8861	[illegible] 雪本 674-221-4651	[illegible] 雪本 674-221-4651	[illegible] 木村 727-613-8861	英表Ⅱ　K3-6 山崎優 286-292-1843	化学　K3-4 楠本 565-590-4702
4/30木7 15:10-16:00	コミ英Ⅲ　K3-1 辻野 465-088-5367	地理B　K3-2 雪本 [illegible]	倫理　K3-5 木村 [illegible]	地理B　K3-2 雪本 [illegible]	地理B　K3-2 雪本 [illegible]	倫理　K3-5 木村 727-613-8861	英表Ⅱ　K3-6 山崎優 286-292-1843	化学　K3-4 楠本 565-590-4702
5/01金1	PMTM	[illegible]	[illegible]	PMTM	PMTM	PMTM	PMTM	PMTM

クラスを合流させ、展開数を減らす

毎時間かならず点呼

講義し続けない

② これまでに行った効果的な工夫

特別時間割運用の陰で

◈ 充実のサポート体制

・・・「ホスト機」を集中管理＠第一情報室。

教員常駐。

◈ 入念な授業準備

③ 今後の展望(有効活用に向けて)

複数のケースを想定

A. 80%登校の継続に向けて

B. 0%登校事態再出来

C. 通信制

C.に関して。
通常授業体制とは完全別建てがよい？

④ 要改善・反省点

A. 80%登校の継続に向けて

現行:「20%」は土曜日に固定

↓

提案:曜日は輪番に

…各科目で1コマはWebを。

④ 要改善・反省点

A. 80%登校の継続に向けて

その上で

Webならではの取り組みに挑戦

K1ならではの必要なこととして

リテラシー面の指導

④ 要改善・反省点

Webならではの取り組みとは例えば？

◈デジタル教科書の読み合わせ

「新傾向」への対応力養う意味でも

◈問題演習のデモンストレーション

・・・ 教科ごとに流儀があっていい

◈アウトプットの強化

インプットより重点を

④ 要改善・反省点

B. 0%登校の事態が再出来したら

- 生徒の負担への配慮
- 技術・運用面
  - ➡ 学園全体で標準化
- 「課題」の運用面
- 生徒の「手元」を映す
- 一貫生のPC買い替え

◈ 技術・運用面の標準化

提案（細かいこともありますが）

- 機材をさらに調える。
- 機材の管理は？
- ZOOMの設定
- トラブル対応
- 「出席」の扱い

etc…

◈「課題」の運用

複数のコミュニケーションツールを用途に合わせて駆使するのは結構ですが・・・

- 課題の発信制限
- 各方面からの課題を整理してやる

↓

K3ではOneNoteに一本化し掲示

◈「課題」の運用

さらに踏み込むなら、

・ 課題の発信制限

↓

コミュニケーションツール使用シーン

やルールの整理・共有・指導

④ 要改善・反省点

「ZOOMならでは」の模索

◈ 生徒に「参加してる感」を

「ラジオ」ぐらいが理想？